

現代の科学と思想1b

(野外教育論)

諫山 邦子

北海道教育大学釧路校
准教授

授業概要

1回の授業構成は、①教員からの講義とクイズ、②個人発表とグループワーク、③授業の振り返り、となっています。また、教員からの講義や指導は必要最小限にし、受講生同士で学び合う協同学習が基本スタイルです。毎回、授業時間外の学習（予習・復習）を用意しており、1つのトピックについて2週かけて学び、しっかりと身につけることができますようにしています。授業時間外の学習には、グループでの課題も含まれています。

到達目標

1. 対立する意見・議論について、論理的・批判的に考えて説明することができる。
2. 議論やプレゼンテーション等を通じて、自分の意見を表現することができる。
3. 協同学習において、積極的にグループに貢献し自分の役割を果たすことができる。
4. 自ら学ぶ姿勢を身につけることができる。

成績評価

①授業中の課題と宿題、②授業後に学習ノート、③授業中の参加態度、④プレゼンテーションの成果、以上4種類の方法によって評価します。

- 到達目標1は、①と②
到達目標2は、③と④
到達目標3は、①と③
到達目標4は、②と④

以上を主な評価基準とし、すべての目標を達成できた場合に単位を認めます。①、②、④は教員が点数をつけて返却し、③は受講生同士の相互評価を行います。詳細はオリエンテーションで説明します。

授業計画

- 第1回：オリエンテーション
(15回の内容、欠席や評価の基準、日程の確認、受講生の発表の分担)
- 第2回：野外教育の考えかた
- 第3回：野外教育の歴史
- 第4回：野外教育の効果
- 第5回：野外教育と組織キャンプ
- 第6回：冒険教育と環境教育
- 第7回：キャンプ療法
- 第8回：前半の小テスト
- 第9回：チャレンジベースドプログラム
- 第10回：自然を感じるプログラム
- 第11回：地域研究プログラム
- 第12回：創作・芸術活動
- 第13回：野外生活技術
- 第14回：学校での取り組み
- 第15回：まとめのテスト

